



もてなしの心で語る わが街

えな自慢

えな自慢
えな花
25

ササユリ

かれんな市の花



群生地での小学生によるスケッチ風景(串原)

ひとくちメモ

山岡町のイワクラ公園内や串原のマレットハウス付近には、ササユリの群生地があり、地元の皆さんにより保護活動が進められている。串原では、6月19日(土)、20日(日)に、ささゆりの里まつりを開催。ささゆりフォトコンテストなどのイベントを行う。

ササユリは、日本を代表する花。本州中部以西、四国、九州に分布する。名前は、葉がササに似ていること由来する。生育環境は、夏涼しく、乾燥したやせた土地を好み、冬の厳しい寒さにさらされて初めて春に発芽する。このため、栽培は難しいとされている。この地域は、ササユリの生育環境に適していた

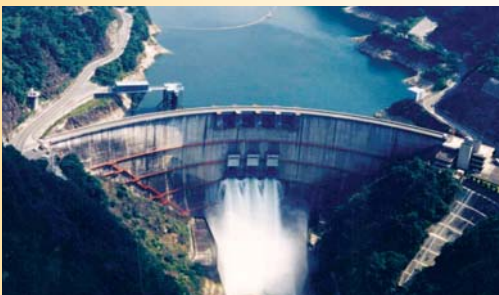


ため、日当たりの良い山のすそ野に淡い薄紅色の花を咲かせる。特に山岡町、串原は群生地があり、大切に保護されている。山岡町では6月下旬から7月中旬にかけて、串原では6月中旬から7月中旬にかけて見ごろを迎える。2005(平成17)年に、大切な故郷の現在を見つめ、未来を守る思いを込めたシンボルとして、市の花に制定された。

えな自慢
えな水
26

矢作ダム

日本初の放物線アーチダム



ゲートから水を放水する矢作ダム

ひとくちメモ

基礎標高が200m、高さが100mある矢作ダム。第30回全国豊かな海づくり大会協賛事業として、6月12日(土)に、奥矢作レクリエーションセンターで、矢作川流域森と清流の交流フェスティバルを開催。ダム見学や魚つかみなどのイベントを行う予定。

串原の愛知県境にあるダム。1971(昭和46)年、美しい形状が特徴のアーチ式ダムとして完成。それまでの円弧アーチではなく、放物線アーチを採用した日本初のダム。以降、日本ではアーチ式ダムは放物線アーチ式が主流となった。このダムは、洪水調節・農業用水・水道用水・工業用水・発電を目的とする多目的ダムで、すべてを併せ持つ珍しい存在。ダムによって生まれた奥矢作湖は、春は桜、秋は紅葉が楽しめるツーリングスポット。

毎週火曜日には、一般の方を対象に、ダムの堤体の内部や操作室などを無料で見学できる。年間に約1,200人が見学に訪れ、60m下の通用口から見上げるダムは圧巻。



堤体を見上げるダム見学者

次号は6月15日号
発行日は6月15日(火)です

広報えな No.129
2010年(平成22年)
6月1日発行

発行 恵那市役所 / 編集 企画課広報広聴係
岐阜県恵那市長島町正家一丁目1番地1 ☎26-2111 / ☎25-6150
<http://www.city.ena.lg.jp/> ✉info@city.ena.lg.jp

『広報えな』6月1日号、1部当たりの印刷経費は約9.5円(税込み)です。



恵那市安心安全メール配信システム
登録用QRコード
問い合わせ 防災情報課(内線317)

『広報えな』は環境に優しい再生紙を使用しています。
この印刷物は石油系インキではなく、地球に優しい大豆油を使用したインキで印刷されています。

